

教育委員会会議の議事録（平成30年7月臨時会）

◆ 日 時 平成30年7月17日（火）午後2時から午後4時3分まで

◆ 場 所 本庁舎 第2委員会室

◆ 出 席 者

教 育 長	佐々木 洋	出席
委員・教育長職務代理者	吉田 利弘	出席
委 員	齋藤 道子	出席
委 員	加藤 道代	出席
委 員	花輪 公雄	出席
委 員	中村 尚子	出席
委 員	里村 正治	出席

◆ 会議の概要

1 開 会 午後2時

2 議事録署名委員の指名 齋藤 委員

3 協 議 事 項

（1）平成31年度使用の仙台市立義務教育諸学校の教科用図書の採択について

（教育指導課長、教育センター指導主事 説明）

教 育 長 本日は、12日に引き続き、小学校の教科書について協議を行う。

初めに国語について協議を行う。

事務局から、学習指導要領の目標と協議会報告、併せて前回の採択理由と4年間の使用実績等について説明をお願いする。

【国語】

指 導 主 事 小学校「国語」について説明する。

学習指導要領における小学校「国語」の目標は、「国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力及び言語感覚

を養い、国語に対する関心を深め国語を尊重する態度を育てる」ことである。

協議会において取りまとめた小学校「国語」の全発行者の特長は、別紙資料1、国語のページにお示ししている。

主な特長としては、A者は、学習のプロセスを示した「学びのステップ」が掲載されており、見通しを持って学習が進められるよう配慮されている。

B者は、教科書と資料集の分冊構成になっており、基礎・基本をしっかりと身に付け、さらに個に応じた学習にも対応できる構成になっている。

C者は、「手引き」や「言葉の力」などの学習の進め方が分かるコーナーや巻末の付録資料が充実しており、児童は主体的に学ぶことができるように、教師には指導に生かしやすいように配慮されている。

D者は、単元の学習の流れが示され、見通しや振り返りを意識して学習に取り組むことができるよう工夫されている。

E者は、発達の段階に応じて伝統的な文化に関する教材がバランスよく配置され、日本文化の豊かさを感じることができるよう工夫されている。

平成26年度に採択され、現在、各学校で使用している教科書はC者である。

平成26年度の採択理由は、「1年上の入門期において、題材、写真、イラストなどが児童にとって親しみやすく、国語の学習に入りやすいような工夫がされている」「国語のノートづくり方のコーナーが丁寧に示され、児童にとって理解しやすいよう工夫されている」「読書を促す教材や資料が数多く掲載され、読書活動の充実が期待できる」「学習の進め方や巻末の資料が充実しているので、児童が見通しを持ち、振り返りをしながら主体的に学べるよう工夫されている」「単元のねらいと付けたい力に結び付く言語活動が明確に示され、基礎的・基本的な内容の定着が図られるよう工夫されている」である。

調査研究委員会では、4年間の使用実績として、「組織的・系統的に配列された内容と単元のねらいと付けたい力に結び付く言語活動の提示により、確かな言葉の力の育成に効果的であった。理解力や表現力、伝え合う力、豊かな言語感覚を育てるために、それぞれの学習事項を結び付けながら、ねらいに迫る学習活動を行うことができた」が挙げられている。

教 育 長 ただいまの説明に質問等があればお願いします。

齋 藤 委 員 E者についてお伺いする。協議会報告で「単元に具体的な言語活動が示されており」とあるが、具体的にどのようなことを示すのか教えていただきたい。

指 導 主 事 E者の教科書、4年生上40ページ、「めあて」で、その後どのような学習活動、言語活動を展開するかが冒頭に明示されている。また、48ページからの「てびき」の内容にその具体が示されており、この単元において教材を使ってどのような言語活動に取り組むか示されている。

中 村 委 員 A者について、協議会報告書にも、「伝統的な言語文化の教材を適切に配置」とあるが、具体的に教えていただきたい。

指 導 主 事 学習指導要領の伝統的な言語文化に関する事項というところに、低学年では昔話や神話、伝承。中学年ではやさしい文語調の短歌や俳句。高学年では親しみやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章となっている。こういった文章についてA者の中で、例えば4年の上では短歌を取り上げているほか、言語に関して、生活文化にまつわる言葉などを取り上げているということが協議会等で話題になった。

里 村 委 員 C者は「読書を促す教材が多く掲載されている」と調査研究委員会報告に出ているが、どの部分かお聞きする。

指 導 主 事 C者の教科書4年の上を例にお話しする。41 ページ、説明文の教材の単元末に「助け合う生き物たちの本を読んでみましょう」ということで、生き物に関する本の読書紹介をしており、こういったものを関連読書として挙げている。

また、「本は友達」ということで84 ページから91 ページまで、長期休業前に本の紹介をすることで、長期休業中の子どもたちに読書を促すことになると調査研究委員会、専門委員会の中で話題に上がっていた。

里 村 委 員 紹介されている本は、子どもたちが読もうと思ったらすぐに手に入るのか。

指 導 主 事 各学校でこちらのリスト等をチェックして図書室に購入している場合が多い。また、図書館にあるものを単元の学習に合わせて各学校で借り入れをして活用している場合もある。

吉 田 委 員 C者の採択理由の一つに、「学習の進め方や巻末の資料が充実しているので、児童が見通しを持ち、振り返りをしながら主体的に学べるよう工夫されている」とある。今回の学習指導要領の改訂で、授業の改善点としても「主体的・対話的で深い学び」というキーワードがあるが、主体的な学びがどのようになされているのか紹介していただきたい。

指 導 主 事 先ほどもお示した4年上の33 ページのところで「説明文のまとまりを見つけよう」「段落同士の結び付きを考えて読み、文章のまとまりを捉える」といった提示がある。これを受け、「てびき」の中で、段落のまとまりを見付けるとはどういったことなのかということを示しており、子どもたちに、主体的な学びということ、見通しを持つということ。この単元では何を学ぶのかということが、C者の教科書の「言葉の力」で具体的に示されている。この部分を活用した授業は子どもたちに学習課題を捉えさせやすいということで、調査研究委員会や専門委員会の実績として先生方から挙げられた。

花 輪 委 員 C者は、学習の指導に関することで、「言葉の力」や「てびき」など、主体的に生徒たちが学ぶ上で有効とある。国語に限らず、社会科でも理科でも「言葉の力」で求めているのは非常によかった。そういう理解をしてよろしいか。

指 導 主 事 4年上の41 ページに「ひろがる」というコーナーがある。こちらで他教科の何かを調べるために資料を読むときにも活用できると記載されている。

教 育 長 そろそろ絞り込みに入りたいと思う。ご意見があればお願いします。

吉 田 委 員 主体的な学び、見通しを持った学びが現在使われている教科書でなされているのであれば、現在使っている教科書を引き続き選択していいと思う。

教 育 長 ほかのご意見はないか。

ないようなので、それでは平成26年度の採択理由及びこれまでの使用実績を踏まえて、総合的な観点からC者でよろしいか。

(異議なし)

それでは、国語については以上、ご議論いただいた内容を採択理由として、事務局に整理してもらい、27日に最終的に決定する。

【音楽】

教 育 長 音楽について協議を行う。
事務局から、学習指導要領の内容の取扱い、協議報告、併せて前回の採択理由と4年間の使用実績等について説明をお願いします。

指 導 主 事 小学校「音楽」について説明する。
学習指導要領における小学校「音楽」の目標は、「表現及び鑑賞の活動を通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育てるとともに、音楽活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う」ということである。

協議会において取りまとめた小学校「音楽」の全発行者の特長は、別紙資料1の音楽のページにお示ししている。

主な特長としては、A者は、発達の段階を考慮し、基礎的・基本的な内容が身に付けられるよう、段階的・系統的な題材の配列や教材の配置が工夫されているということである。

B者は、題材で扱う共通事項を見開きごとに題材名の下に明示したり、「音楽のもと」を設けたりして、基礎的・基本的な内容の定着を図るように工夫されているということである。

平成26年度に採択され、現在各学校で使用している教科書はB者である。

平成26年度の採択理由は、「新しい歌唱教材を豊富に配置したり、プロの演奏家のコメントを巻頭に掲載したりして、児童の興味・関心を高めるような内容になっている」「自然の豊かさや季節をイメージさせやすい写真や絵が配置されている」「音楽を通して、震災復興を訴える地元のオーケストラの記事が取り上げられたり、『荒城の月』の楽譜と説明文が記載されたりしているなど、仙台市の児童にとって身近に感じる内容になっている」「児童が、運指の練習を行う際に活用する鍵盤ハーモニカやリコーダーの挿絵や写真が実寸大に近く充実している」である。

調査研究委員会からは、4年間の使用実績として、「児童のイメージを喚起する写真やイラストがあり、想像力豊かに学習を展開するために効果的であった」が挙げられている。

教 育 長 ただいまの説明に質問等はないか。

中 村 委 員 B者について、協議会報告に「異学年のまとまりを考慮した内容になっている」とあるが、具体的に教えていただきたい。

指 導 主 事 協議会の中で、例えば低学年は就学前の学習との関連に配慮し、身近な音に親しんだり、音楽を通して友達と積極的に関わったりしながら、音楽の基礎的・基本的内容を繰り返し学習できるような構成になっているという話題があった。

吉 田 委 員 協議会の報告、専門委員会の報告書の中にも共通事項とあるが、具体的に教科書のどの部分か教えていただきたい。

指 導 主 事 B者の3学年の教科書25ページの教材は、繰り返すリズムや旋律を合わせようというねらいのもと取り上げられている。そちらの右側の部分に「繰り返して重ねて」という目標があり、その下に共通事項が表記されている。

このように共通事項を表記している場合、掲示物として音楽室に掲示して活用する学校もある。

齋 藤 委 員 A者について協議会報告の中に、「郷土の民謡のページで、自分の地域に伝わる音楽のを知ることができる」とあるが、具体的に教えていただきたい。

指導主事 巻末の郷土の民謡というページで自分の地域に伝わる音楽を写真付きで紹介し、全国がまとめられているのがよいという話があった。

花輪委員 B者の採択理由の一つに「新しい歌唱教材を豊富に配置したり」という表現があるが、歌なので古いものから今のものまで、日本のものから海外のものまで、幅広い中で選択できるが、そういう題材を入れているという理解でよろしいか。

指導主事 そのとおりである。

教育長 そろそろ絞り込みに入りたいと思う。どの教科書を採択すべきか、ご意見があれば伺いたい。

齋藤委員 A者及びB者、どちらも非常に優れた教科書だと思う。問題なくB者を今まで使っているので、そのまま継続して採択してよいと思う。

教育長 B者というご意見があった。ほかにご意見がないようなので、平成26年度の採択理由及びこれまでの使用実績を踏まえ、総合的な観点からB者ということによろしいか。

(異議なし)

教育長 それでは、音楽については、以上ご議論いただいた内容を採択理由として、事務局に整理してもらい、27日に最終的に決定する。

【図画工作】

教育長 図画工作について協議を行う。

事務局から、学習指導要領の目標、協議報告、併せて前回の採択理由と4年間の使用実績等について説明をお願いします。

教育指導課長 担当指導主事から説明する。

指導主事 小学校「図画工作」について説明する。

学習指導要領における小学校「図画工作」の目標は、「表現及び鑑賞の活動を通して、感性を働かせながら、つくり出す喜びを味わうようにするとともに、造形的な創造活動の基礎的な能力を培い、豊かな情操を養う」ことである。

協議会において取りまとめた小学校「図画工作」の全発行者の主な特長は、別紙資料1、図画工作のページにお示ししている。

主な特長として、A者は、材料や用具の使い方が丁寧に説明されており、導入時や創作活動時に活用できるように配慮されている。また、題材ごとの観点別のめあてを示しており、児童が学習の見通しを持って意欲的に取り組むことができるように工夫されている。

B者は、巻頭では現役芸術家の言葉と作品を紹介し、広く芸術への関心を持たせている。また、ねらいが具体的であり、それに関わる多くの作品が掲載されている。

平成26年度に採択され、現在、各学校で使用している教科書はB者である。

平成26年度の採択理由は、「児童の想像力を広げ、つくり出す喜びを味わえる魅力的な題材や互いの感じ方を認め合える鑑賞資料が提供されており、造形活動を通して、豊かな情操を養うことに適している」「巻頭に『小さな美術館』や『ゆめをかたちに』を設け、数多くの著名な作品や造形作家に触れることができるように工夫されている」「色鮮やかな数多くの作品、詳細な用具の扱い方を掲載し、図画

工作で目指す製作活動の内容が分かる工夫がされている」である。

調査研究委員からは、4年間の使用実績として、「題材の振り返りがあることで、活動のおもしろさを再確認することや、鑑賞における言語活動の充実につながった」という点が挙げられた。

教 育 長 ただいまの説明に質問等があればお願いします。

吉 田 委 員 専門委員の報告書1の学習と指導に関すること(11)に、「発想・構想の広げ方や発想のヒントが具体的に掲載されており、さらに活動を広げられるように配慮されている」とあるが、具体的に教えていただきたい。

指 導 主 事 発想の広げ方、具体的に例えば小学校の1・2年生の上の13ページ、3・4年生の下の23ページに「あっ！いいことかんがえた」「考えを広げよう」などのアイコンがついており、子どもたちが考え方を具体的に考えられるヒントになるような示し方をしている。

花 輪 委 員 B者は、調査研究委員会、調査研究専門委員会の両方で「鑑賞における言語活動の充実につながった」と報告されているが、教科書のどういうところを見ると分かるのか。

指 導 主 事 例えばB者の小学校1・2年生の下の31ページに「カッターナイフタワー」という題材がある。題材ページの中に、言語活動を行う際の観点が示されている。「窓の形がいろいろあって楽しいね」「色の組み合わせがきれいだね」という子どもたちの言葉があり、ただ「きれいだね」とか「上手だね」ではなくて、共通事項にある具体的な鑑賞するときの形であるとか色の組み合わせであるとかについて示している。

吉 田 委 員 子どもたちは作品を作れば展示・掲示されて大多数は終わるわけだが、現在使われているB者の場合は、確認として活動を振り返る、自己評価をするような観点で編集されている。実際、子どもたちが活動した後、どのような振り返りをしているのか、事例があれば紹介していただきたい。

指 導 主 事 振り返りのところだが、教科書の各題材の一番後ろのところに「ふりかえってみよう」がある。ピンク色、黄色、緑、青が、それぞれ図工の観点である関心・意欲・態度、発想や構想の能力、創造的な技能、そして鑑賞の能力について、子どもたちの言葉に分かりやすいように変えたものが具体的に載せられている。先生方もこの観点を参考にしながら、子どもたちと導入のときにも、そして振り返りのところにもこれができるかどうかということをお話することによって、ねらいを明確に持てる工夫がされている。

齋 藤 委 員 A者もB者も、特にカラーユニバーサルが優れていることを感じるが、特に特色のようなものがあれば教えていただきたい。

指 導 主 事 A者、B者、どちらもカラーユニバーサルデザインに大変配慮されている教科書である。NPO法人のカラーユニバーサルデザイン機構の検閲を経て、全ての子どもたちに伝わるように、識別しやすい配色、形状、イラスト・写真の大きさまで、細かく配慮されている教科書となっている。

教 育 長 そろそろ絞り込みに移りたいと思う。どの教科書を採択すべきか、ご意見をいただきたい。

花 輪 委 員 A者もB者も大変いい教科書だと思うが、現行使っているB者で学習効果が着実に上がっていることから、特に替える必要はないのではないかなと思う。よって、B

者を採択したらよいと思う。

教 育 長 B者というご意見をいただいたが、ほかのご意見はないようなので、それでは、平成 26 年度の採択理由及びこれまでの使用実績を踏まえて、総合的な観点から B 者ということによろしいか。

(異議なし)

教 育 長 それでは、図画工作については、以上ご議論いただいた内容を採択理由として、事務局に整理してもらい、27 日に最終的に決定する。

【家庭】

教 育 長 家庭について協議を行う。

事務局から、学習指導要領の目標、協議報告、併せて前回の採択理由と 4 年間の使用実績等について説明をお願いします。

指 導 主 事 小学校「家庭」について説明する。

学習指導要領における小学校「家庭」の目標は、「衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にする心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる」ことである。

協議会において取りまとめた小学校「家庭」の全発行者の特長は、別紙資料 1、家庭のページにお示ししている。

主な特長としては、A 者は、今日的な課題に対応できるよう、防災、伝統文化、キャリア教育、安全教育、環境教育等の内容が盛り込まれ、児童の関心・意欲を高められるよう工夫されている。

B 者は、表紙裏面の「2 年間を通して」は学習の見通しを分かりやすく表し、「日常生活全体を見通す」という家庭科で学ぶテーマが分かりやすく工夫されている。

平成 26 年度に採択され、現在各学校で使用している教科書は B 者である。

平成 26 年度の採択理由は、「巻頭に児童の日常生活と関連させながら学習する題材の構成の配列を示し、2 年間の学習の見通しや中学校へのつながりの意識を持てるように配慮されている」「生活に必要な基礎的・基本的な知識、技能を習得しやすいように、発達の段階に応じた思考力や判断力の育成に配慮した内容となっている」「家庭科学習でよく使われる用語一覧が掲載されているので、生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能の定着を図ることができる」である。

調査研究委員会からは、4 年間の使用実績として、「用語一覧や『ひとロメモ』を活用することで、家庭科における言語活動の充実を図ることができた」が挙げられている。

教 育 長 ただいまの説明に質問等があればお願いします。

中 村 委 員 B 者について、協議会の報告書に、「地域社会や幅広い世代について関心を持って学習できるように工夫されている」とあるが、どの部分か教えてほしい。

指 導 主 事 例えば B 者の 29 ページに学校と地域の取り組みという形で提示されている部分、62 ページ以降に提示されているところが該当する。

齋 藤 委 員 A 者についてお聞きする。学習と指導に関することで、「左利き児童への配慮が

されている」という点について教えていただきたい。

指導主事 A者の教科書 115 ページ、117 ページ、119 ページ、121 ページで視覚的に捉えやすく掲載されているというところが協議会等で話題になった。

吉田委員 協議会の報告書の配列に関するものの、現在使われているB者について、「めあてと手順が番号で示され、確実に学習できるように配慮されている」とある。また、専門委員会の報告でも、学習と指導に関するものの(9)の「『話し合おう』『考えよう』『やってみよう』『調べよう』の投げかけ」、そして「学習における習得・活用・探求が配置されている」とある。子どもたちに主体性を持たせることを意図した編集かと思われる。実際に授業での活用の仕方、子どもたちの状況はどうだったのか教えていただきたい。

指導主事 本教科に関しては小学校5・6年が対象となり、ほかの教科に比べて指導の機会が少ないというところから、調査研究委員や専門委員では、このような形で提示されていることで、指導のしやすさもあるし、子どもも見通し持ちやすいということが話題になっていた。また、そのことから発展として、「チャレンジコーナー」などにつながるという点では構成が大変丁寧にされているということも話題になった。

花輪委員 専門委員会のご意見の中で、「題材がスモールステップで構成され」という表現があるが、その辺もA者とB者で違いはあるということなのか。

指導主事 大きな違いという点ではないが、ステップを踏んで見通しを持つという点で構成されているという形で取り上げた。

教育長 そろそろ絞り込みに入りたいと思う。どの教科書を採択すべきか、ご意見をいただきたい。

吉田委員 A者、B者ともそれぞれ工夫された編集内容だと思う。現在使われている教科書が大きな課題になっていることもなく、編集などが効果的に授業に活用されているならば、現在使っている教科書を引き続き採択してもいいのではないかと思う。

教育長 現在使用されている教科書、B者でいいのではないかという意見があったが、ほかのご意見はないようなので、平成26年度の採択理由及びこれまでの使用実績を踏まえ、総合的な観点からB者ということによろしいか。

(異議なし)

教育長 それでは、家庭については、以上ご議論いただいた内容を採択理由として、事務局に整理してもらい、27日に最終的に決定したいと思う。

【保健】

教育長 保健について協議を行う。

事務局から、学習指導要領の目標、協議報告、併せて前回の採択理由と4年間の使用実績等について説明をお願いします。

指導主事 小学校「保健」について説明をさせていただく。

学習指導要領における小学校「体育」の目標は、「心と体を一体としてとらえ、適切な運動の経験と健康・安全についての理解を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てるとともに健康の保持増進と体力の向上を図り、楽し

く明るい生活を営む態度を育てる」ことである。

「保健」の内容としては、第3・4学年で、「1、健康の大切さを認識するとともに、健康によい生活について理解できるようにする。2、体の発育・発達について理解できるようにする」と示されている。第5・6学年では、「1、心の発達及び不安、悩みへの対処について理解できるようにする。2、けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当ができるようにする。3、病気の予防について理解できるようにする」と示されている。

協議会において取りまとめた小学校「保健」の全発行者の特長は、別紙資料1、保健のページに示している。

主な特長として、A者は、全体的に柔らかな色合いでまとめられており、学習のキーワードが強調されていることで児童の印象に残りやすい。

B者は、心・体の問題、今日の問題などがページ下部の「豆知識」で取り上げられており、少ないページ数でたくさんの情報を伝える工夫がある。

C者は、写真やイラスト等、学習内容に即した資料の工夫がなされており、学習意欲を引き出すものになっている。

D者は、「考えてみよう」「話し合ってみよう」のポイントがたくさんあり、知識だけでなく理解を深めることにつながる。

E者は、学校医や薬剤師の話として健康についてのアドバイスが記載されており、説得力がある。

平成26年度に採択され、現在各学校で使用している教科書はD者である。

平成26年度の採択理由は、「自分の生活を見つめる学習課題が設定されるなど、保健の学習と日常生活をつなげて考えることができるので、学習内容の日常化・実践化が期待できる」「単元の終末に『学習をふり返ろう』のページがあるので、基礎的・基本的な学習内容の定着が期待できる。また、教師も評価資料として有効活用することが期待できる」「紙面構成が、学習課題や課題解決に向けた活動が一目で分かるように配置されている。書き込み等のしやすさにも配慮されているなど、児童が自分で学習を進めることができるように工夫されている。また、横幅のみワイドな紙面となっており、机上で扱うことにも適している」「不安や悩みに対する解決策として、人との関わりやよりよいコミュニケーションが紹介され、心のケアを配慮した内容となっている」である。

調査研究委員会からは、4年間の使用実績として、「児童の自主的・自発的な学習を促し、思考力・判断力・表現力を育む内容構成となっており、学習活動の充実が図られた」が挙げられている。

教 育 長 ただいまの説明に質問等があればお願いします。

齋 藤 委 員 調査研究委員会の報告書を見ると、A、B、C、D、E、どの者も3年から6年の4年間の間に、生命の尊さ、命の教育、それから防災教育にも触れているという点をクローズアップしているが、この観点から、各者の特長を教えてください。

指 導 主 事 1つ目の命の教育についてである。専門委員報告書に記載されていることであるが、A者は3・4年生教科書、例えば19ページに詩があり、「10歳をむかえる皆さん」、また25ページ、「へそのおっぺいいね へそのおっぺすごいね」の詩がある。こちらは生命の尊さ、それから素晴らしさについて書かれた詩を掲載している。

続いてB者である。3・4年生教科書 24 ページでは「男女仲よく」と題して、性の違いを認め合い、男女が助け合うことの大切さを取り上げる。続いて 25 ページで、新しい生命の誕生も掲載している。

続いてC者である。3・4年生の教科書 29 ページ、「発展」で、「受けつがれていく命」と題して、胎児についての学習を通して自らの命を大切にしようとする心が育まれるようになっている。

D者である。5・6年生用教科書の9ページ、「広げよう」では、不安や悩みがあるときに相談できる窓口と連絡先が紹介されており、一人で悩まないことを伝えている。

最後にE者である。5・6年生用教科書 12 ページでは、「思春期はだれもがなやむもの」と題して、悩みとその対処法の例を多く紹介し、困ったときの相談窓口を掲載しているなどの意見が挙げられていた。

続いて、防災教育についてA者は、5・6年生用教科書 44 ページ、「発展」の部分で「東日本大震災を教訓に」と題して、心の健康、けがの防止、病気の予防に関連することを扱っている。

B者は、5・6年生用教科書 26 ページから 29 ページで、地震や津波への対応を4ページの分量で扱っている。緊急地震速報や率先避難者など、実際の場面で役立つ知識が多く掲載されている。

C者は、5・6年生用教科書 26 ページ、「もっと知りたい!」の部分で「自然災害に備えよう」と題し、家族で避難場所を決めておくことなどを取り上げている。

D者は、5・6年生用教科書 22、23 ページで、自然災害によるけがの防止を「発展」として扱い、地震や津波の際のけがの防止に関する知識を習得し、活用する学習活動を設けている。

E者は、5・6年生用教科書 24～25 ページ、「もっと知りたい・調べたい」で、「自然災害に備えて」と題し、地震や津波に加えて台風、集中豪雨、火山噴火等を取り上げているといった話題が調査研究委員会に出ていた。

吉 田 委 員 時数の扱いで、3年生・4年生は合わせて8時間、5年生・6年生は16時間ということで、その分量と時数との関係で、それに合わせた題材数が8ないし16ということで編集されている教科書会社が大半だと思う。今使われているD者の場合、子どもたちの勉強範囲が広がるというメリットがある。題材を選択しながら、学校独自または授業者独自に年間指導計画を作ると思うが、どのような観点から選択しているのか教えていただきたい。

指 導 主 事 時数であるが、吉田委員がおっしゃったとおり、学習指導要領解説では、第5学年及び第6学年の授業時数は2学年で16単位時間程度とすると明記されている。そうすると、単純に言うと5年生8時間、6年生8時間ということになる。16時間の中に、けがの防止、心の健康、そして病気の予防の3つがある。それを4時間・4時間、そして病気の予防は8時間扱うということになっている。

年間指導計画は学校が独自につくるものではあるが、基本的にD者は見開き2ページを1単位時間で扱うとしているため、例えば5・6年生の2ページ冒頭に「学習の課題」とあり、この見開き2ページで完結するようになっている。

吉 田 委 員 そうすると、学校の実態とか学級の実態に合わせて選択し、一般的な言葉で言えば軽重をつけるという扱いをなされているという解釈でよろしいか。

- 指導主事 そうである。
- 中村委員 E者について、協議会の資料に「自発的学習に結びつく資料が工夫されている」とあるが、どのあたりがそれに当たるのか教えていただきたい。
- 指導主事 E者についてお答えする。自発的学習に結びつく資料であるが、「もっと知りたい・調べたい」というコーナーを各所に設けている。例えば5・6年生用教科書の40ページ、病気の予防の部分では「パソコンやタブレットと健康」、あるいは「医学や保健の分野での日本人の世界的な活躍」など、実社会や児童の興味・関心と結びつく資料になっているという話である。
- 教育長 そろそろ絞り込みに入りたいと思う。どの教科書を採択すべきか、ご意見をいただきたいと思う。
- 吉田委員 3年生・4年生で言えば4時間ずつ、高学年で言えば8時間ずつ、限られた時間内で現在使われている教科書が有効に活用されているので、引き続き現在の教科書を使わせてよいと思う。
- 教育長 現在の教科書を採択との意見があった。ほかの意見がないようなので、それでは、平成26年度の採択理由及びこれまでの使用実績を踏まえ、総合的な観点からD者ということによろしいか。

(異議なし)

- 教育長 それでは、保健については、以上ご議論いただいた内容を採択理由として、事務局に整理してもらい、27日に最終的に決定したいと思う。
ここで休憩とする。再開は3時35分とする。

(休憩 午後3時15分～午後3時35分)

- 教育長 再開する。

【一般図書】

- 教育長 一般図書について協議する。
事務局から説明をお願いする。
- 特別支援課長 特別支援学校、特別支援学級で使用する一般図書・文部科学省著作教科書について説明する。
別紙資料4「平成31年度使用の仙台市立義務教育諸学校教科用図書にかかわる資料3」を参照いただきたい。こちらは調査研究委員会から出された報告書である。
1ページは、小学部・小学校用の平成31年度の一般図書候補本のうち、新規採択候補本6冊が掲載されている。
この表の見方だが、一番左の行にある「種目」という用語は「教科」と同じ意味で使われている。
その右隣の「番号」の欄であるが、数字だけで示しているのは宮城県が選定した図書。アルファベットで示しているのは仙台市が独自に候補とした図書をあらわしている。こちらの6冊の対象ごとの評価は、いずれの欄に二重丸あるいは丸の記号で表されている。これは教科書として適しているとの意見が挙げられている。

2 ページは、今年度まで採択していた一般図書のうち、現在品切れになっていて増刷予定のないものであり、供給できない図書を掲載している。したがって、この本は、平成 31 年度は教科用図書として採択はできない。

3 ページから 7 ページまでは、今年度までに既に採択されており、平成 31 年度も継続して採択候補としているものである。こちらについても対象欄における評価は、いずれの欄にも二重丸または丸が記載されている。継続候補本は 94 冊で、新規候補本と合わせると小学校の一般図書候補は 100 冊となる。

8 ページからは中学部・中学校用である。

8 ページは、平成 31 年度の一般図書候補のうち新規採択候補本 4 冊が掲載されている。こちら 4 冊についても対象ごとの評価は、いずれの欄にも二重丸や丸の記号があらわされており、適しているとの意見が挙げられている。

9 ページは中学部・中学校用として今年度まで採択していた一般図書のうち、今回供給不能となった本 2 冊を掲載している。これらの本は、平成 31 年度は教科用図書として採択はできない。

その裏面、10 ページである。こちらから 12 ページまでは、今年度までに採択されており、平成 31 年度も継続して採択候補としている本である。こちらについても対象欄における評価は、いずれの欄にも二重丸または丸が記載されている。継続候補本は 48 冊で、新規候補本と合わせると中学校の一般図書候補は 52 冊となる。

13 ページは小学部・小学校用の文部科学省著作教科書である。こちらでも対象欄における評価は、いずれの欄にも二重丸または丸が記載されている。

なお、文部科学省著作教科書については、検定教科書と同様に、中学部・中学校用は平成 29 年度と同一の教科書を採択しなければならないとされており、今年度は小学部・小学校用についてのみの採択を行う。また、本年度の調査研究委員会では、教科用図書として適さないとの意見があった本はなかった。

別紙資料 1、仙台市義務教育諸学校教科用図書協議会の報告書をご覧ください。調査研究委員会の報告を踏まえ、協議していただいた結果、別紙 2 の表について適切であるとの判断をいただいている。

仙台市義務教育諸学校教科用図書協議会で出された主な意見として、例えば体の器官や栄養に関するものは、5 年ほどの期間で考え方が変わるので、古いものは見直していく必要がある。生活習慣も 1900 年代と今では大きく変化し、スマートフォン・タブレットなどの使い方も含めて選択の見直しをしていく必要がある。あるいは東日本大震災の経験を受け、特別支援学級の児童・生徒の防災教育を充実させていくことが必要であると。何冊か防災の本はあるが、もう少し種類が増えれば現場で活用できるのではないか。あるいは生活の候補本の内容には、理科や社会、家庭科的なものも含まれている。また、国語や算数、図工でも、絵本から発展的な学習まで対応できる本が候補本となっているなど、多岐にわたり満遍なく網羅されているといったものがあった。

また、それぞれの本については、小学校国語「あっちゃんあがつくたべもの あいうえお」は、「手にとりやすい大きさで、言い回しのリズム感がよい。題材が食べ物なので親しみやすく、文字に対する興味・関心も高まる」。

中学校数学「くらしに役立つ数学」について、「子どもたちは生活の中から学ぶことが一番効率がよいと思う。距離など、数学が日常的に多くのところで役立って

いることが分かり、とても素晴らしい本だと思った」などの意見があった。

いずれも、本の詳しい内容については、この後、閲覧の時間に手にとってご覧いただきたい。

教 育 長 それでは、ただいまから確認の意味で、一般図書と文部科学省著作教科書を 3 時 55 分まで閲覧したいと思う。

(図書閲覧 午後 3 時 42 分～午後 3 時 55 分)

教 育 長 協議を再開する。

先ほどの説明、それから実際に本をご覧いただいたの意見、あるいは質問等あればお願いします。

齋 藤 委 員 中学部の一般図書について、供給が不可能となった英語の「ワークだいすき！アンパンマンの ABC であそぼう」、これは対象としてよく使われていたようだが、ほかの教科書で対応できるようなものがあるのか教えていただきたい。

特別支援課長 供給不能本に対応して代わりになるものはないが、今回新しく英語の本を何冊か入れており、そういったもので代替が可能だと考えている。

また、来年度以降も本の調査をし、教科書としていい本があればさらに充実させていきたい。

吉 田 委 員 関連して新規の採択予定教科書は中学校で 4 冊ということだが、そのうち 2 冊が英語である。その背景には小学校の教科に英語が位置付けられたことと関連があるのか教えていただきたい。

特別支援課長 英語については特別支援学級や特別支援学校において非常に重要な位置付けがこれからはなされていくと考えている。

そういった中で、障害のある子どもにとっても外国語を身近に感じて、そして国際的な視野を持つということは非常に重要であり、そういう意味では一般図書も英語を充実させて身近な言葉を学ぶのに適したものを探して教科書として候補本にさせていただいた。

これまでの英語の教科書は候補本を 8 冊挙げているが、多様な学びができるように種類を増やしていきたいと考えている。

里 村 委 員 資料 3 に特別支援学校及び特別支援学級の評価が出ていて、二重丸と一重丸と三角がある。この三角の意味は、ほとんど使用するのに適さないとなっているが、三角がついた本も選ばれている。これは低学年には三角だが、高学年には二重丸だから選んでいると理解してよろしいか。

特別支援課長 おっしゃるとおり。発達の段階において学校でどの教科書を使うかについて、参考として、この二重丸、丸、三角も評価をしていただいている。

教 育 長 それでは採択に移りたいと思う。

今回、特に不適切であるという意見、報告がなかったので、別紙資料 1、報告別紙 2 の一般図書及び文部科学省著作教科書一覧にある図書を全て採択する方向でよろしいか。

(異議なし)

ご異議がないようなので、ただいまご審議いただいた内容を採択理由として、事務局に整理してもらい、27日に最終的に決定する。

以上で平成31年度使用の仙台市立義務教育諸学校教科用図書の採択についての協議を終了する。

4 閉 会 午後4時3分